

平成27年度（第2回）
 水稻病虫害発生状況調査及び生育診断圃調査の結果について（通知）
 （実施日 平成27年7月23日（木））

いもち病	いもち病の発生が若干認められました。1か月予報によると、期間の前半は、気温は平年並からやや高く、降水量は平年並みであり、日照時間も平年並と予想され、また7月20日に近畿地方は梅雨明けが発表されたことから、発生は平年並みで推移すると考えられます。しかし、葉いもちの発生が多く、上位3葉に病斑が見られる場合は、穂いもちの多発につながるため穂ばらみ期及び穂揃期の防除を徹底して下さい。
紋枯病	紋枯病の発生は見られませんでした。
ウンカ類	ヒメトビウンカの発生がわずかに認められました。1か月予報によると、降水量は平年並、気温は平年並～高いと予想されおり、今後生息場所となる本田において増殖が助長されると予想されます。
カメムシ類	今回の調査では認められませんでした。しかし、県下ではアカスジカスミカメ・アカヒゲホソミドリカスミカメの発生を確認している圃場もあり、早めの畦畔雑草の刈り込み、穂揃期の防除等留意してください。
その他	ツマグロヨコバイ・イネツトムシ・コブノメイガは今回の調査では認められませんでした。8月に入ってから発生消長に注意してください。
生育状況	平均草丈の前年対比は96.1%、平均茎数は111.4%です。 平均草丈 養父市 92.3cm（昨年98.1cm） 朝来市 89.5cm（昨年91.0cm） 平均茎数 養父市 25.7本（昨年21.0本） 朝来市 28.1本（昨年27.3本）

※ 詳細は普及センター、農協の営農指導員又は南但広域農業共済課職員へお問い合わせください。

※ 次回の調査は8月6日（木）で、最終となります。

【問合せ先】

南但広域行政事務組合農業共済課
 TEL 079-665-0215